



# まろにえ

令和5年4月6日  
学校だより 第1号  
羽村市立羽村第一中学校

## 令和5年度のスタートにあたり

校長 三浦利信

羽村第一中学校開校76年目、令和5年度の教育活動が始まりました。本日の始業式を2年生224名、3年生188名で実施し、明日の入学式に179名の新入生を迎え、全校生徒591名でのスタートになります。



今年度は、3年間続いたコロナ禍からの変化の年になります。令和元年3月に全国一斉臨時休業から始まり、マスク・消毒・検温が当たり前の生活が続いた3年間、学校生活も多くの制約を受け、中止・延期となった行事も多くありました。4月からはウイズコロナの生活が始まります。基本的な感染症対策は、引き続き実施していきますが、生徒達には活気ある学校生活を送って欲しいと思います。

ごあいさつが遅くなりましたが、前任の新谷太郎先生の後任として着任しました、校長の三浦利信（みうらとしのぶ）です。6年前まで羽村第二中学校で校長をしており、久しぶりに羽村市に帰ってきました。今後とも保護者・地域の皆様のご理解・ご協力よろしくお願ひいたします。

今年度の羽村第一中学校は、人と人とのコミュニケーションを大切に、「誰にも優しい学校」、「互いに認め合える学校」を目標に、教育活動を進めていきます。生徒達には、常に目標を持って、何事にも取り組み、羽村第一中学校を卒業していくことを誇りに思える、素晴らしい中学校生活を送って欲しいと思います。保護者・地域の皆様のご理解と暖かいご支援を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

## 自分の悩みと壁って、自分しか超えられない

「自分の悩みとか超えたい壁って、やっぱ自分しか超えられないんですよね。人にアドバイスを求めても、結局自分で考えるしかなかったりする」歌手や俳優として活躍している星野源さんの言葉です。

ミュージシャン、役者、文筆家などさまざまな分野で才能を発揮している星野さんですが、活躍の場が多いだけに悩みや壁を感じることも多く、一人になった時にもものすごい孤独感を感じることもあるそうです。素晴らしい才能がある人だからこそ抱えている悩み、それを解決できるのは自分しかないし、「壁」を感じるかどうか自分次第だと話しています。

中学校生活でも、多くの困難があり、それを乗り越えるには、たくさんの努力が必要だと思います。時には、途中で投げ出したり、逃げ出したりしたくなることもあるかも知れませんが、どんなことにも多少の壁はあります。その壁を乗り越えることで、人は頑張れ、そして成長できます。生徒達が、中学校生活をとおして大きく成長することを期待します。